

### 3 指宿地域のサツマイモ基腐病対策によるさつまいもの生産安定

## サツマイモ基腐病被害軽減技術の取組

### 成果の要約

- 1 作業部会員で2週間おきにさつまいもほ場を一筆毎巡回調査し、発生株の早期発見、早期抜き取り・防除等呼びかけた結果、被害「少」以下を100%に抑えることができた。
- 2 残渣処理、早期耕耘、体系的な防除、耕種と畜産部門との農地交換、チラシ作成・集落班毎回覧等を行った結果、320haの未発生ほ場の確保に繋がった。

### 1 対象

- (1) 基腐病対策 PT 指宿市作業部会
- (2) 実証農家2戸
- (3) さつまいも栽培農家333戸

### 2 課題を取り上げた理由

- (1) サツマイモ基腐病は、平成30年に開聞地区で発生が確認され、平成2年には市内全域に、令和3年には作付面積の80%まで被害が拡大した。
- (2) 基腐病の発生抑止に向けて基腐病対策PTを中心に防除対策技術の確立や普及が進められ、令和5年以降の被害発生は減少傾向である。今後も発生抑止対策の継続した取組のもとにさつまいも産地の維持、さつまいも農家の経営安定を図る必要がある。

### 3 活動の内容及び成果

- (1) 指宿市WGの活動支援
  - ア さつまいもの病害対策推進  
農政普及課指宿市十二町駐在、指宿市、JAいぶすき、鹿児島県くみあい食品で南薩地域サツマイモ基腐病対策PT指宿市作業部会を構成し、ワンチームとして防除対策指導に取組んだ(写真1)。
  - イ 基腐病発生状況の把握  
指宿市作業部会では、4月から9月まで2~3週間おきにさつまいもほ場の巡回調査を8回行い、早期発見、早期抜き取り・防除等を指導した。  
令和6年産基腐病発生割合は、無:91.4%、微(3%未満):8.4%、少(3~20%):0.2%、中以上(21~100%):0%となり、被害「少」以

下を100%に抑えることができ、320haの未発生ほ場の確保に繋がった。



写真1 作業部会員による一筆毎巡回調査

- (2) 基腐病対策の実践支援

#### ア 被害軽減技術の実証

新規登録薬剤のフロンサイドSCを用いて、初期生育期の茎葉散布2回体系防除の検討を行い、基腐病の発生を抑止する結果が得られた(写真2)。



写真2 薬剤による2回体系防除技術の実証ほ

#### イ 被害軽減に向けた指導

サツマイモ基腐病に関する知識や蔓延防止基本技術の理解促進等を図るため、11月と12月に講習会(写真3)を開催し、「持ち込まない、増やさない、残さない」の3つの基本的な発生対策の理解と実践への誘導に努めた。

#### ※ 発生防除基本技術

- ① 健全農地の確保 ②健全苗の確保
- ③ 育苗床の消毒と全面被覆 ④苗消毒
- ⑤ ほ場の消毒 ⑥排水対策 ⑦発生株の早期発見・早期抜き取り・防除
- ⑧ フロンサイドSCを核とした薬剤散布
- ⑨ 残渣処理



**写真3 サツマイモ基腐病防除対策講習会**

また、作業部会では、6月と9月にチラシを2,500部ずつ作成し、市内全集落へ回覧を行い、サツマイモ基腐病対策の周知と発生抑制の理解及び実践への誘導に努めた。



**写真4 サツマイモ基腐病以外の塊根腐敗の発生**

## **4 今後の課題**

- (1) 「持ち込まない、増やさない、残さない」の3つの基本対策技術の周知と理解及びその実践
- (2) サツマイモ基腐病以外の塊根腐敗症状の発生に対応するための現地実態把握や対応策の検討(写真4)

## **5 担当した普及職員(〇はチーフ)**

〇松崎, 樋口, 上西窪